

✨ 興水かおり こしみず・かおり

広島県生まれ。元玉川大学客員教授。23年の教員生活の後、港区教育委員会指導主事、東京都教育庁主任指導主事、小学校校長、玉川大学客員教授等を務める。光村図書小学校『国語』教科書編集委員。



監修 興水かおり 漫画 あべかよこ

連載「なるほど国語指導」でおなじみの国語の妖精コッシーが、令和六年度から使用開始となる新版『国語』の教科書の内容をご紹介します。

国語の妖精 コッシーが解説！ なるほど 新版 光村の『国語』教科書



国語の学びを見わたそう

国語の学びを
見わたそう

何かをつたえようとするとき、あなたと友だち
とは、使った言葉がちがうことがあるでしょう。
同じことを言うとしても、いろいろな言葉で
表すことができるのです。あなたらしい言葉で
つたえられたらいいですね。

さあ、言葉について
学んでいこう。

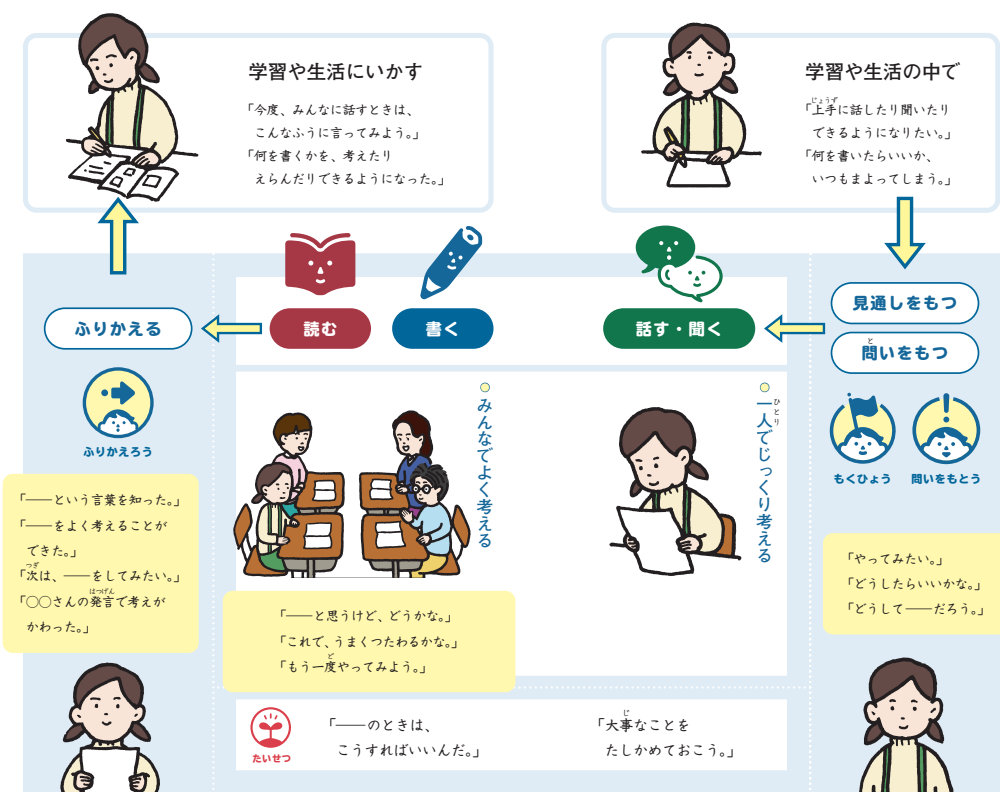


▲ 3上p5-9

国語を学ぶ意義に
ついて、みんなで考
えるきっかけにな
るページです。

どうやって学んでいくのかな

みんなで考え、学びを深めていくために、
学習の進め方をたしかめましょう。



学び方がひと目で
わかるように整理
しました。

① 学習や生活の中
で感じた子ども
の「問い」が学びの出
発点です。

② 個別最適な一人
一人の学びと、対話
を通じた協働的な
学びの両面から、学
びを深めていきま
す。

③ 学びをメタ的に
振り返ることで、**成長を実感し、次の
学びへとつなげま
す。**

三年生で学ぶこと

二年生で学んだこと

話す・聞く

下

理由をあげて、つたえたいことを話す
お気に入りの場所、教えます

話を聞いて、知りたいことをしつもんする
もっと知りたい、友だちのこと
こんな係がクラスにほしい
122 44

三年生では、話し合いの
しかたを学ぶだね。



つなげよう
話そう・聞こう
話し合う 聞く 話す
話したり、聞いたり、話し合ったりして、気が
ついたことをつたえ合う。

決めるよう
集めよう
「つたえたいことを、」と「たこ」や「思ったこ
と」をなら、くわしく思い出す。
「つたえたいことを、」は「中」の「終り」の
組み立てを整理する。

「聞き取りやすい声の大きさで、話す態度
をくふうする。」
「相手と正しくつたえよう」に話す。

「しつもんをして、相手の考えを引き出す。
友だちの考えを聞いて、自分の考えと同
じところやちがうところを見つけたら、
思ったことを話したりする。」

「話したり、聞いたり、話し合ったりして、気が
ついたことをつたえ合う。」

楽しく書く
わたしの一日
18

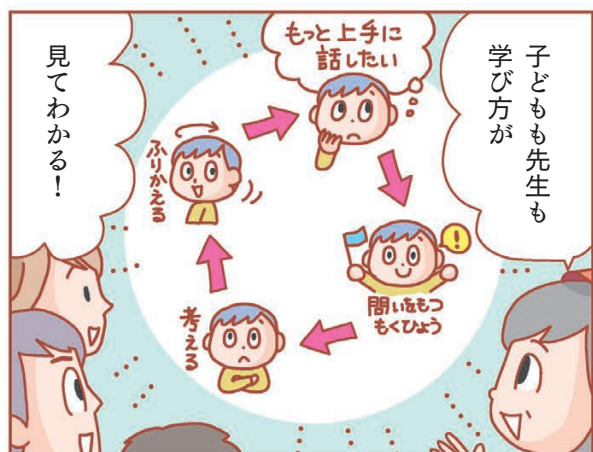
読みかえて、
文章をととのえる

話すときも書くときも、何をつたえる
かをよく思い出したり、短い言葉でメモ
したりすることが大切だね。



上段は、言葉の力に
着目して、一年間の
学びを見通せるよ
うに「たいせつ」の
見出しで整理しま
した。

下段には、これまで
に学んだことを、学
習過程に沿って示
しました。



子どもの「問い」から学びが始まる

▼3下p134-136

「読むこと」「学習」ページ

学習

見通しをもとう



もくひょう

人物を表す言葉に気をつけて読み、「豆太」について考えたことを友だちとつたえ合おう。



問いをもとう

あなたは、「豆太」をどのような人物だと思いましたか。友だちは、どのように考えているでしょうか。

語り手
物語の地の文を語る人
164ページ
自身
165ページ

目標

子どもの考えや思いが、学習の目標につながるの！



上段：学習の目標
下段：目標を達成するための着眼点。
指導事項に沿って、簡潔に示しています。

言葉による見方・考え方を働かせながら学習に取り組めるように、着目してほしい言葉や表現を取り上げました。

一人一人の子どもの興味に沿って、個に応じた学びが進められるよう、選択課題を設けています。

対話で学びを深める、協働的な学びのイメージを、事例とイラストで示しました。

上下段の構成は子どもたちにもわかりやすいですね

この活動のポイントはこの下段に書いてあるよ

先生にもわかりやすいです！

だから新版では他のところも二段になったの！

ふりかえろう

読むこと

どの言葉から、「豆太」がどんな人物かをそうそうしましたか。友だちの考えを聞いて、新しく気づいたことや、考えが変わったことは何ですか。着目する点をえらんで読んでみて、どう思いましたか。

ひろげよう

○まどめた考えをつたえ合ひしよう。友だちの考えと自分の考えをくらべ、にているところやちがうところ、新しく気づいたことを見つけよう。

まとめよう

○「豆太」について考えてきて感じたことや、自分とくらべて考えたことなどをまとめよう。その考えが、作品のどこから生まれているのかも書きましよう。

ふかめよう

○「豆太」はどんな人物ですか。行動や会話、語り手が語る言葉などをもとに、そうそうしよう。

とらえよう

○場面ごとに、「豆太」と「じさま」の行動や会話、そのときの様子をたしかめよう。

言葉に着目しよう

人物を表す言葉を、だれが語っているのかに気をつけて読みましよう。

・「豆太はどおくひょうなやつではない。」(122ページ2行目)
・「ゆづきのある子もたつたんだからな。」(132ページ12行目)

えらんで読み深めよう

次の中から一つえらんで、考えましよう。

○「豆太」の行動
○「豆太」の、自分自身への見方
○「じさま」から見た「豆太」
○「豆太」の、モチモチの木への思い

つたえ合ひのれい

「言葉のたから箱」 165ページ
ぼくは、「豆太」はゆづきがあるなと思いました。「豆太」は見たの場面では、……。もし、ぼくが「豆太」だったら、……。

読むことの学習過程に沿って、課題を整理しています。

評価の観点に対応しています。
知る……知識・技能
読む……思考・判断・表現
つなぐ……主体的に学習に取り組む態度

登場人物についての考えをつたえ合おう
○ 次のことに着目し、場面や言葉を読むにつけながら、登場人物の気持ちのへんかやせいかについて考える。
・その人物の行動や会話
・語り手や他の登場人物が、その人物について語る言葉
○ 考えるときに着目した言葉や文を明らかにしながら、登場人物と自分をくらべて感じたことをつたえよう。
○ 他の人と感想を交流することで、新しい考えに出会うことができる。

八郎
八郎は、山のように大きな男、波を流された村の人々を助けたと、ある行動に出ます。

花さき山
山に雲にまよったあや、一面にさく美しい花にびく。山は、そのひつを覚えてくれました。

ソメコとオニ
ソメコは五歳の女の子。オニにさらわれても平気で、ずつと遊びにさそいます。つかれたオニは、……。

この本、読もう

斎藤隆介さんの本です。どんな人物が出てくるでしょうか。

身につけた力を確認し、他教科や日常生活で活用する視点を示しています。

単元の学習と関連させて、さまざまな角度から本を紹介しています。



大切なことが
きちんと
押さえられ
るわね。

学習のポイントがわかる、二段構成

「話すこと・聞くこと」「書くこと」



話す・聞く

大事なことを落とさずに聞こう

聞き取りメモのくふう

学校の先生たちは、小学生のころ、何にむちゅうになっていったのしょう。一場さんたちは、分担して話を聞き、知らせ合うことにしました。



問いをもと

人の話を聞いて、メモを取っておけばよかったと思ったことはありませんか。話を聞きながら取るメモは、どのようにするとよいと思いますか。



目標

聞いたことを、正しく人につたえられるように、メモを取ろう。

① メモを取る話題と目的をたしかめよう。

話題
先生が小学生のころに、むちゅうになっていたこと。

目的
聞いた話を、他の友達に知らせる。

② メモの取り方について考えよう。

中川先生の話を聞きながら、要点をメモしましょう。友達に知らせるとしたら、どんなメモを取りますか。



中川先生

上段 活動の流れ

下段 学習のポイント

話す・聞く

一場さんのメモ

中川先生
① 水泳
しゅう安 3
平およぎ とくい
タイム 5 びょう

② 絵
えのぐ(おばあちゃん)
夏休み けや?



③ くふうしてメモを取り、メモを使って発表しよう。

岸さんのメモ
・水泳
・週3回れんしゅう
・平泳ぎ
↓タイムちめたい。
・絵
・おばあちゃんからえ
のぐをもらう。
・こうえん なつやす
みに、けやき



メモを取るときは

- まとまりごとに、短い言葉で書く。
- かじよう書きにする。
- 矢印や記号などを用いる。
- しつもんやかくにんをしないところに印をつける。

他に、大事なと思ったことはありますか。

聞いたことをたしかめるときの言葉

- ・「———ということ合っていますか。」
- ・「———のところがよく聞き取れなかったの、もう一度、教えてください。」

かじよう書き
156 ページ
用いる

重点箇所

- ① たしかめよう
「三年生で学んだこと」……… 8 ページ
- 見通しをもと
- ① 決めよう
メモを取る話題と目的をたしかめる。
- ② じゅんびしよう
メモの取り方について考える。
- ③ 話そう
くふうしてメモを取り、メモを使って発表する。
- ④ つなげよう
メモを取ることにして話し合う。
- ふりかえろう

▲ 4上p44-46

「読むこと」と同じ、二段構成だから、子どもも学習を進めやすいの！

上段(活動)

下段(学習のポイント)

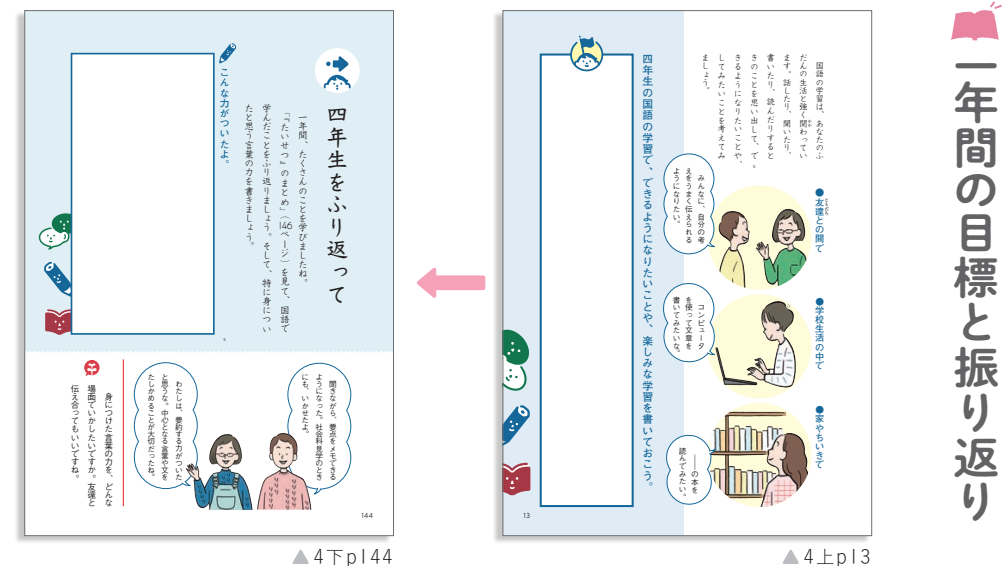
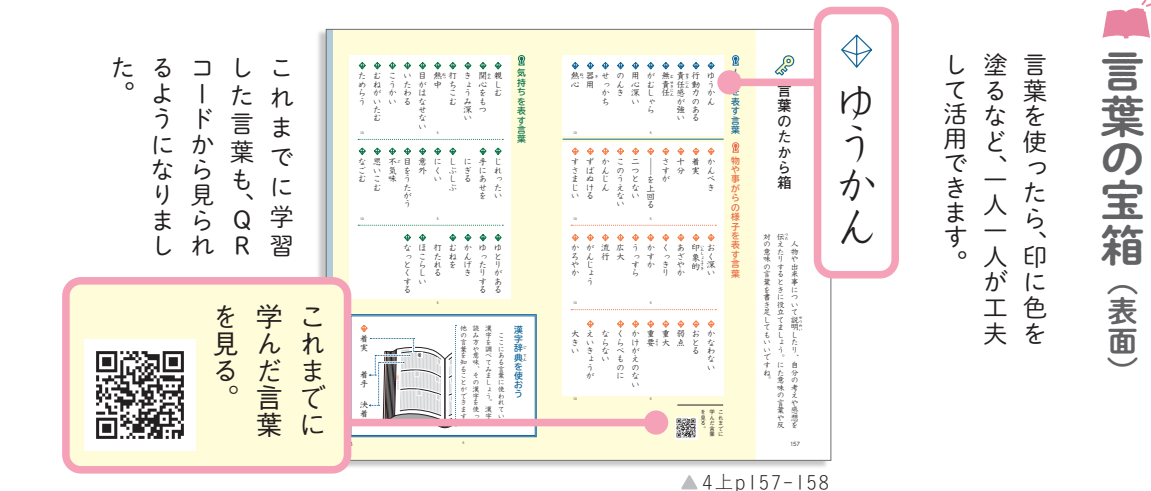
学習過程を明示し、重点箇所を地色やマークで強調することで、見通しをもって、学習に取り組めるようにしています。

これまでの経験などから「問い」をもつことで、主体的に学習に取り組めます。さらに、その「問い」が学習の目標につながる構成になっています。

重点箇所では、子どもが、大事なことを自分で考えるための課題を設けました。ここでの気づきを、自分自身の活動にかいていきます。

重点箇所の下段では、チェックボックス形式で大事なことをまとめています。この項目を友達と助言し合うときの観点にすると、深い学びにつながる対話が実現できます。

言葉による見方・考え方を働かせながら活動に取り組めるように、それぞれの活動で使ってほしい言葉や表現を取り上げました。



説明的な文章

文学的な文章



六年	人間は他の生物と何がちがうのか	福岡伸一
六年	「考える」とは	鴻上尚史 石黒 浩 中満 泉
四年	風船でうちゅうへ	岩谷圭介
四年	未来につなぐ工芸品	大牧圭吾
三年	文様	熊谷博人
二年	ロボット	佐藤知正
二年	紙コップ花火の作り方	丸林佐和子
一年	つぼみ	川北 篤



生物学者 福岡伸一が語る、人間と他の生物の違い

なぜ人間だけが、種を保存することよりも、一人一人の命を大切にできるのか。これから生きる子どもたち、問いかけます。

「考える」とは何か、普遍的なテーマに挑む

作家・演出家の鴻上尚史さん、ロボット学者の石黒浩さん、国連事務次長の中満泉さんの三人が、それぞれについての「考える」について語ります。

三人の多様な考えに触れ、子どもも、自分にとっての「考える」を言葉にしていく本単元。自らの考えの形成につながる新教材です。



二年	みきのたからもの	蜂飼 耳
三年	春風をたどって	如月かずさ
四年	友情のかべ新聞	はやみねかおる
四年	スワンレイクのほとり	小手鞠い
五年	銀色の裏地	石井睦美
六年	ぼくのブック・ウーマン	ヘザー＝ヘンソン 藤原宏之 訳

心温まる、SF作品

みきには、誰にも話さない秘密があります。それは、ポロロン星から来たナニメノンとの出会いです。

未知との遭遇によって進む物語が、子どもの心を捉えます。



謎解きが楽しい、ミステリー

『そして五人がいなくなる』などで人気のはやみねかおるさんの書きおろしです。作品に登場する謎は作者からの挑戦状。ぜひ、その謎を、クラスみんなで解き明かしてください。

時代や場所を超えて伝わる、本を読む喜び

一九三〇年代のアメリカ。学校や図書館が近くにない地域の人々に、馬に乗って本を届けた図書館員がいました。その仕事を基に書かれた物語です。

特設単元「言葉について考えよう」



言葉について考えよう



▲4下p113



言葉の使い方が適切でないために起こってしまった問題を漫画で示し、言葉に立ち止まるきっかけを与えます。



さあ、次は、この新版教科書の学びをより充実させる「デジタル教科書・教材」よ。



「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材



取り組みやすい、楽しい教材

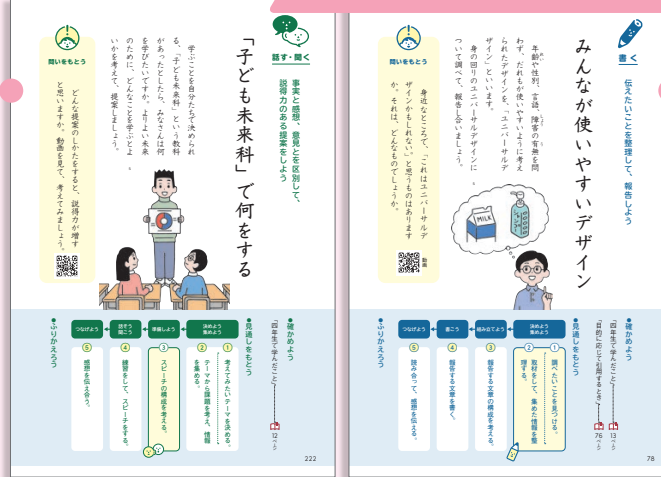


▲4上p18

▲3上p122

自分のクラスに、どんな係があったらよいかを話し合う。

よりよい未来のために、考えてほしい題材



▲5年p222

▲5年p78

身の回りにあるユニバーサルデザインについて、調べて報告する。

飼っている犬や野球のグローブなど、身近なものになりきって、文章を書く。

社会の課題と向き合い、その解決のために、学ばべきことを考えて提案する。